

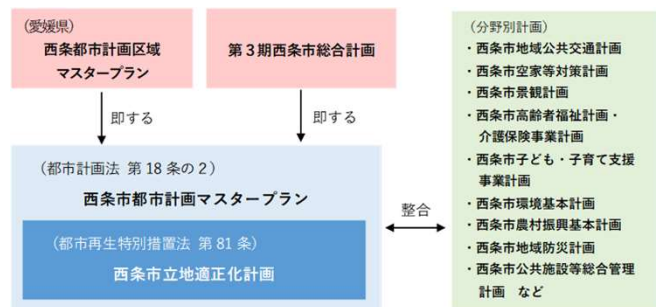
西条市都市計画マスタープラン及び西条市立地適正化計画

1 計画の趣旨及び位置づけ

計画の趣旨

- ・都市計画マスタープランは、長期的な視点にたって土地利用や市街地形成の将来像をあきらかにするとともに、その実現に向けた課題への対応方針を定め、本市が定める土地利用規制や各種事業の指針となるものです。
- ・立地適正化計画は、都市計画区域内を対象に居住及び都市機能を誘導する区域を設定し、これまで進めてきたまちづくりのストックを活かしながら、都市機能や公共交通の利便性を高め、住みよい居住地を形成する計画です。

計画の位置づけ



計画期間

20年間

令和8年(2026年)

令和27年(2045年)

2 都市の将来像

基本理念

人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市

～産業と地域文化が独自の輝きを放つ、安全・安心でコンパクトなまちづくり～

基本方針

基本方針1 「コンパクト・プラス・ネットワーク」を目指したまちづくり

基本方針2 若い世代がこれからも暮らしたいと思えるまちづくり

基本方針3 豊かな地域資源を活かした産業の活力あふれるまちづくり

基本方針4 人や環境に優しく持続可能なまちづくり

基本方針5 誰もが安全・安心に住み続けられるまちづくり

目標人口

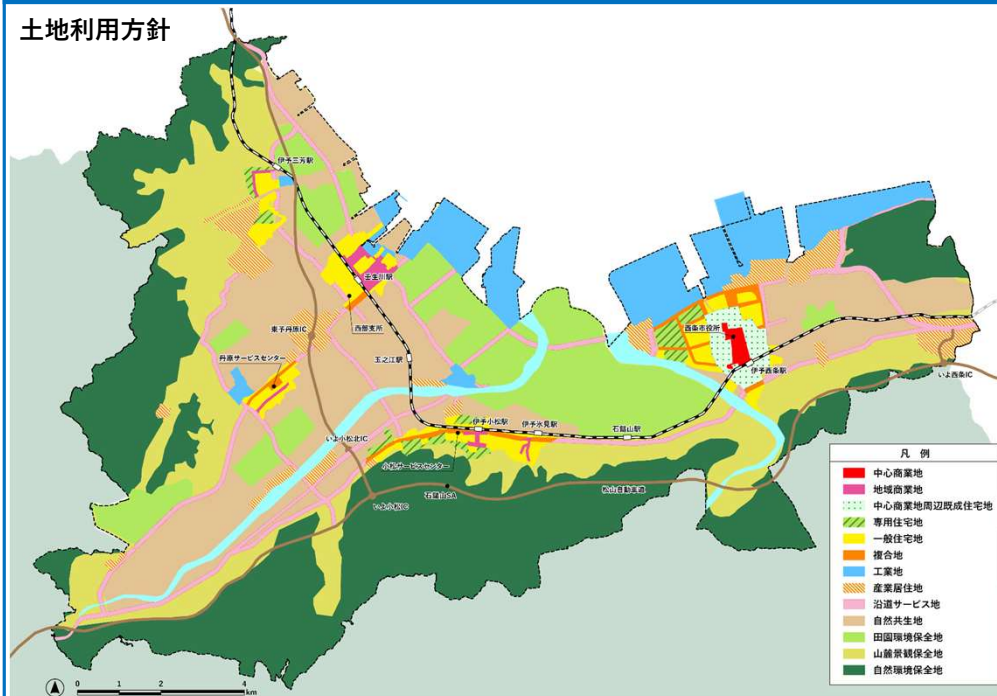
西条市都市計画マスタープラン目標人口

約84,000人(2045年)

【パブリックコメント用 概要版】

3 都市づくりの方針

土地利用方針



市街地整備の基本的な考え方

- ・市街地整備の方針は、都市機能や居住の誘導により計画的な市街地の形成を図りつつ、都市拠点の形成など、景観に配慮しながら、人にやさしい、コンパクトな都市づくりを推進していくための方針を定めます。

交通施設整備の基本的な考え方

- ・国道(バイパス)・県道等の幹線道路やそれらを補完する道路の整備を計画的に進めます。
- ・「西条市地域公共交通計画」に基づき、まちづくりと連動した交通体系の構築や持続可能な公共交通の実現を目指します。

公園・緑地整備の基本的な考え方

- ・縮充の観点に立ち、施設の長寿命化を図るとともに、既存の公園資源を有効に活用します。公園の整備や管理を、市民やNPO、企業など多様な主体と連携し、使いやすい魅力的な空間づくりとして公園を育て、利用者の満足度向上を図ります。
- ・地元の特性を生かして個性を引き出す「地域に合った公園づくり」を目指します。
- ・住民、民間、行政の共創で新しい公園のあり方を見据え、緑の基本計画の見直しを図ります。

河川・水道・下水道整備の基本的な考え方

- ・洪水防御や水資源の確保など河川機能の強化を図りつつ、親水の視点をもった快適な河川環境の創出に努めます。
- ・水道及び下水道事業については、老朽化への対応等を適切に行い、事業計画に基づき、計画的かつ効率的な事業運営に努めます。

「誰もが安全・安心に住み続けられるまちづくり」の実現に向け、災害リスクのある地域については、市街地形成の経緯や都市機能の集積状況を考慮し、災害発生時に被害をださないようにする「防災」だけでなく、災害時にその被害を最小化する「減災」の考え方も取り入れた対応策として、防災・減災策に取り組みます。